

● I K I の社会貢献活動

第 29 回ロボット & プログラム体験教室

世田谷区立花見堂小学校



3月9日（木）、東京都世田谷区立花見堂小学校で、今年度5回目となる当社（I K I）社会貢献イベント「ロボット & プログラム体験教室」を開催しました。同校では毎年6年生の授業時間を利用した教室を開催。今回も卒業を控えた男女17名の子どもたちが参加し、はじめてのプログラミングに挑戦しました。

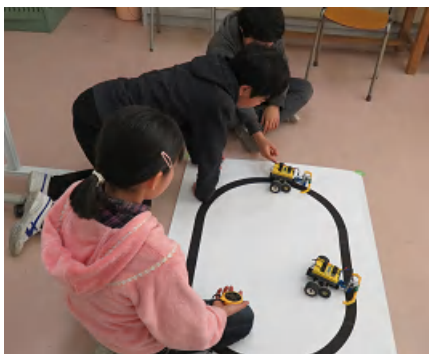
花見堂小学校では、2012年3月に初めてこの教室を開催して以来、毎年お声掛けいただいています。同校での開催は6回目で、これまでにのべ114名の子どもたちに参加いただきました。

教室の冒頭では、まずロボットとプログラムについて当社進行役が説明。同時に、子どもたちに、思い浮かぶロボットはどんなものがあるかを考えてもらい、発表してもらいました。「ペッパー」「アシモ」「どらえもん」などお馴染みのロボットや「災害救助ロボット」が挙げられました。



その後、車型ロボット（以下、ロボット）の組み立てに続いて、実際にロボットを動かすプログラムを作ってもらいました。まず取り組んだのは、「まっすぐ走って戻る」、それを繰り返す動き、そして、センサーを利用した「明るく（暗く）なったら、右（左）に曲がる」という練習問題。実際に自分の作ったプログラムでロボットが走るのを見て、子どもたちは目を輝かせ、楽しそうでした。

途中、自由にプログラムをつくる場面では、ジグザグ走行をプログラミングするチームも。「常識にとられるんじゃない！」と発言する子どももいて、私たちも子どもたちの可能性や頭の回転の速さに驚かせられました。



最後は、黒い楕円の線に沿って40秒で1周するプログラムに挑戦。早々にプログラムを完成させて、別のプログラムを考えたり、なかなか思い通りに線の上を走らせることができなかつたり、子どもたちの習熟度は様々でしたが、みな真剣に取り組んでいました。また、早くできたチームが、できていないチームにアドバイスしたり、子どもたち同士で助け合っている姿が印象的でした。

恒例の楕円コース一周を40秒に近いタイムで走行するレースでは、最後にプログラムを完成させたチーム「ちんもくのウサギ」が、奇跡の39.97秒でゴール。優勝を飾りました。

花見堂小学校は3月25日で閉校。1959年の開校以来、半世紀超の歴史に幕を閉じます。今教室に参加した6年生は、同校最後の卒業生です。この教室も思い出のひとつとして、心に刻まれれば私たちも嬉しく思います。

活動開始から丸6年。参加者はのべ500名を超えました。今後もより多くの子どもたちが、楽しくプログラミングを体験できる機会として提供してまいります。

<お問合せ>

経営企画室

(電話：03-6400-7010)